



[トップページ](#) > [参拝について](#) > 境内のご案内

境内のご案内

名称
黒いワクの上に書かれた名称にカーソルを合わせると詳しい説明を表示します。

地図内で紹介している場所の印刷用一覧ページはこちら

印刷用一覧ページ

凡例
P 駐車場
WC トイレ

参拝について

文章中の黄色いチェック部分にカーソルを合わせると解説を表示します



文字の大きさ

標準 大 最大

宇佐神宮の建築様式は八幡造(はちまんづくり)とよばれています。この八幡造は、二棟の切妻造平入の建物が前後に接続した形で、両殿の間に一間の相の間(馬道)がつき、その上の両軒に接するところに大きな金の雨樋(あまどい)が渡されています。檜皮葺(ひはだぶき)で白壁朱漆塗柱の華麗な建物が、横一列に並んでいます。奥殿を「内院」・前殿を「外院」といいます。内院には御帳台があり、外院には御椅子が置かれ、いずれも御神座となっています。御帳台は神様の夜のご座所であり、椅子は昼のご座所と考えられています。神様が昼は前殿、夜は奥殿に移動することが八幡造の特徴です。また、八幡造のもととなったのは、二之御殿の脇殿・北辰神社の建物ではないかといわれています。一之御殿が神亀2年(725)、二之御殿が天平5年(733)、三之御殿が弘仁14年(823)にそれぞれ建てられました。

参拝者の皆様へ



- ・宇佐神宮へのアクセス
- ・祈願祭
- ・お守り・お札…など

宇佐の神宝

宇佐神宮宝物館

表参道商店街

宇佐神宮庁

〒872-0102
大分県宇佐市
大字南宇佐2859
TEL:0978-37-0001
FAX:0978-37-2748

メールを送る >



嵯峨天皇の弘仁年間(810年代)勅願によって創建され、上宮の御分神をご鎮祭になったことがきっかけで、八幡大神様・比売大神様・神功皇后様は上下御両宮のご鎮座となりました。

「下宮参らにゃ片参り」と云われる所以です。下宮の八幡大神

は、御饌(みけ)を司るとともに、農業や一般産業の発展、充実をお守りになるご神威を発揮されます。古くから日常の祭祀には、とくに国民一般の祈願や報賽(ほうさい)が行われてきました。



御祭神
おおささぎのみこと
大鷲命(仁徳天皇)
おおばえのみこと ことばえのみこと
大葉枝皇子・小葉枝皇子
はやぶさわけのみこと めどりのみこと
準別皇子・雌姫皇女

天長元年(824)同7年、ご神託があって、仁壽2年(852)に造営使を派遣して造営創祀されました。応神天皇の若宮であられる大鷲命(仁徳天皇)と皇子をお祀りしています。除災難・厄難の神様として有名です。



影見れば月も南に寄篠川
くるるに橋を渡る宮人

呉橋は西参道にある屋根がついた神橋です。昔、呉の国の人掛けたともいわれ、この名があります。鎌倉時代より以前からある橋です。上記の歌は後伏見天皇正安3年(1301)の勅使、和氣篤成朝臣のものです。



善神王(ぜじんおう)神社
御祭神
たからだいまょうじん
高良大明神
あそだいまょうじん
阿蘇大明神

神宮内郭の南正門。勅使門で通常は開かずの門です。入母屋造檜皮葺楼門、正面5.34m、側面3.17m、背は10.6m。高良大明神、阿蘇大明神の二神を御門の神としてお祀りしています。



御祭神
あめのみなかぬしのかみ
天御中主神
たかむすびのかみ
高皇産靈神
かみむすびのかみ
神皇産靈神

神宮の上宮内、第一殿の西北に南面して祀られる小社で、比売大神の脇殿といわれ、本宮の地主神と伝えられる造化三神を祀っています。上宮西中門の中に鎮座しています。社殿は八幡造です。



西大門は文禄のころ(1592~)改築されたといわれ、以来この桃山風の華麗な構造となっています。

屋根は切妻及び向唐破風造りで檜皮葺、内部はとくに極彩色が多用されています。国宝の本殿、勅使門などと共に宇佐神宮の景観を象徴する建物です。



西大門前のこの木造鳥居は宇佐鳥居と称し大鳥居をはじめ他の鳥居はすべてこれと同じ形式のものです。

この鳥居は宇佐古来の形式をもつ鳥居として有名で、額束はなく、台輪を柱上に置いています。宇佐の鳥居の規格となるものです。

祭器具等を納める高倉の板倉です。寄棟造り檜皮葺。下は円柱で正面二間(4.84m)、側

面二間(3.95m)、柱間は黒塗りの板壁で、引込み戸を設けています。前面のみ持送りで縁を設け、擬宝珠高欄を備えています。床上が倉の本体です。



■ 宝物館

当宮関係の国指定文化財、県指定文化財等数百点の文化財を収蔵、展示公開しています。深遠な宇佐の歴史と文化に触れることの出来る八幡文化の殿堂です。 [詳細はこちら>>](#)



■ 絵画館

上宮、祈禱殿の階下にて宇佐神宮にまつわる伝承を展示しております。9時～16時開館。年中無休。入館料は大人(高校生以上)100円、子供(中学生以下)50円です。



■ 古代蓮

日本三沢の池に数えられる、宝物館前の『初沢の池』に咲く古代蓮が最も美しく咲くのは7月から8月。この蓮は、千葉県で2000年前の地層から出土した実から復活させ1973年に移植したものです。現在では約1万株まで増えました。



■ イチイガシ(一位檜)

手水舎前の参道から上宮へ向かう階段付近に群生する木々は、イチイガシと楠を主体とした自然のままの常緑広葉樹林で、国の天然記念物に指定されています。表参道の並木もイチイガシです。

|| 上宮門内の参拝時間

4月～9月(5時30分～21時) 10月～3月(6時～21時)

※祈禱の受付は9時～16時

[このページの一番上に戻る](#)

| [トップページ](#) | [宇佐神宮について](#) | [参拝のご案内](#) | [お祭について](#) |
| [八幡講崇敬会](#) | [宝物館](#) | [表参道商店街](#) | [お問い合わせ](#) |

Copyright (C) 宇佐神宮庁. All Rights Reserved.